

罹 災 証 明 申 請 書

受付番号：

朝霞市長 あて

年 月 日

申請者 (世帯主)	住 所	電話番号
	現在の 連絡先	電話番号
	ふりがな 氏 名	

記入者 (申請者と同じ場 合は記入不要)	住 所	電話番号
	ふりがな 氏 名	申請者と の関係

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

被災住家の所在地 (申請者住所と同じ 場合は記入不要)	
-----------------------------------	--

※ 住家とは、現実に住居（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることを言う）のために使用している
建物のことをいいます（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

住家の被害	☐ 床上浸水 ☐ 床下浸水 ☐ その他被害（以下に記入）
-------	---

使用目的	保険 ・ 諸官庁 ・ その他（ ）
------	-------------------

必要枚数	枚
------	---

床下浸水の場合 写真による 被害区分の判定	☐ 希望する（→写真を添付してください）※1※2 ☐ 希望しない（→市職員が現地調査を行います）
-----------------------------	---

- ※1 申請者の合意に基づく自己判定方式による床下浸水の判定を行う場合は、
現地調査を省略し、写真により被害区分を判定することが可能です。（木造家屋のみ）
写真は「罹災箇所（浸水した高さが分かるようメジャーを当てて撮影）」
「建物全景（外周4面）」「表札が分かる写真」が必要です。
- ※2 添付された写真から被害の程度が判断できない場合には、現地調査を行うことがありま
- ※3 非木造家屋の場合は、現地調査を行います。
- ※4 被害認定調査を迅速に行うため、固定資産課税台帳等に記載された建物の所在地番、
床面積、構造、図面といった情報を利用する場合があります。

職員記入欄	
住家の被害の 程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 中規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 準半壊 ☐ 準半壊に至らない （一部損壊）